

令和の大改革 指導 ポイント

確実な合格をみすえた 強力サポートで ゴールまで共に走ります。

難関資格試験で合格を勝ち取るには、学習の序盤から合格圏内に身を置き、それを試験本番まで維持し続ける必要があります。マラソンに例えるなら、合格というゴールをめざす中で、その長く険しい道のりにおいて、常に先頭集団にいるということになります。それは決して簡単なことではありません。

そんな厳しい挑戦を続ける受講生のために、優れた実績を挙げ続ける学習システムから、毎年改訂のオリジナル教材、各種テストの得点状況の細やかな確認指導まで「令和の大改革」と称し、徹底強化を推進しています。そして、それらをフル活用して、講師、教室マネージャーなど、スタッフ総出でゴールまで伴走します。

また、講習日だけにとどまらず、受講生の毎日の学習もしっかりとマネジメントします。学習計画や効果的な学習方法、時間の使い方など、「どのような道のりをどのようなフォーム、ペースで走ればいいのか」を、学院オリジナルの学習管理ツール『今年絶対合格するダイアリー』によって導きます。

「令和の大改革」の名の下 ——
強力なサポート体制で受講生と共に走り続け、ゴールまでしっかりと送り届けることを約束します。



より多くの受講生に合格を勝ち取ってもらうため、優れた実績を挙げ続ける講習システムをさらに進化させ続けています。

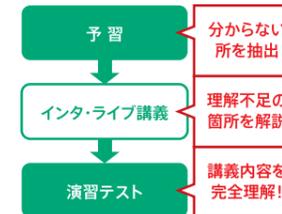
令和の大改革 敢行中!

より多くの受講生に合格を勝ち取ってもらうために 令和の大改革



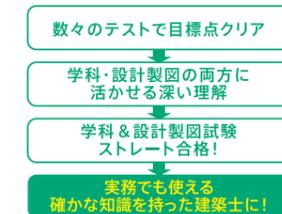
対面指導だからできる! 理解不足をなくし実力が身につく学習システムへ!

■講義前後の理解度を高める予習(プレテストなど)と演習テスト



講義の完全理解に向け、予習用のプレテストや各教材を活用し理解不足の箇所を抽出。講義ではその理解できなかった箇所を重点的に解説する講習システムを導入しています。また、講義内容の理解度を確保するための演習テストを実施。効率良く記憶の定着を図ります。

■解答を『正しく記述できるレベル』まで! 設計製図試験を見据えた学科指導



学科高得点者は設計製図試験の合格率の高いことが証明されており(当学院調べ)、当学院では設計製図試験を見据えた学科対策コースを展開しています。問題に対して正しく理解し、『正しく記述できるレベル』まで実力を引き上げる指導を実施! 学科試験のみならず、設計製図試験にも対応できる力を身につけます。

講習カルテB記入例

理解状況	[1]理解できていない [2]半分程度理解できた [3]理解できた [4]正しく問題を解ける [5]正しく説明できる [6]正しく記述できる
学科I【計画】	絶対湿度と相対湿度の違いが解りましたか? [1] [2] [3] [4] [5] [6]
Check Point 1	絶対湿度: ある温度の空気中に含まれる水蒸気の絶対量のこと 相対湿度: 天気予報で聞く湿度のこと

学科における高得点を確実なものにし設計製図にも活かせる知識を身に付けるために、講義後に理解度を確保する講習カルテB(P.9)では到達状況を「数値」で明確にし、「正しく記述できる」レベルに達しているか確認。

学習システムについて P.8~



受講生全員合格の目標に向け講師陣の指導力を徹底強化!

■好指導例の共有強化!

良質な指導方法を抽出し全国の講師に素早く水平展開します。



■講師間連携強化!



教室内の各科目担当講師で受講生の学習進捗状況を共有し、最良の指導を追求します。

講師について P.16~



講義以外の日々の学習についても十分にマネジメントします!

合格に必要なのは、日々の学習の継続。大半の資格スクールでは、自宅での学習は本人任せですが、当学院では毎日の学習管理もしっかりサポート。「今年絶対合格するダイアリー」で日々の予定を確認し、効果的な学習方法をアドバイスします。また、学習のポイント、テスト結果管理表なども掲載されており、学習の方向性や自身の学習進捗状況が把握できます。

今年絶対合格するダイアリー



サポートシステムについて P.18~

